

さきちゃん 砂防 希望 だより

No.117 令和6年10月号

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所



立谷沢川砂防出張所

キャンプ砂防2024in月山

～現場体験、地域体験等を通じ砂防事業と地域の暮らしを知る～



9月2日(月)～6日(金)の5日間、新庄河川事務所管内にてキャンプ砂防を実施し、今年は3名の大学生が参加しました。当出張所は2日目を担当し、立谷沢川流域で行われている砂防事業や、この地に伝わる歴史・文化について学びました。

午前中は【現場体験】

砂防事業の多くは荒廃が激しい環境下で行われています。平成23年に崩落した池ノ台の現状をドローンで確認しました。濁沢第8砂防堰堤では学生にドローンの操作体験をしてもらいました。

協力：(株)田村測量設計事務所



モニターで崩壊地を確認中



しっかり説明を聞き
これを飛ばします→



午後からは【地域学習】

立谷沢川流域に今も多く姿を残す龍神・水神の碑。これらの龍神信仰から地域の人々がいかに暴れ川の脅威、土砂災害に向き合ってきたかなど学びました。

講師：出羽三山歴史博物館
渡部 幸 学芸員

防災学習教室

10月3日(木)余目第2小学校 5年生のみなさん
10月4日(金)余目第4小学校

学習のねらい

- 立谷沢川を題材に
- ① 『流れる水の働き』を学ぶ
 - ② 砂防施設などの防災に向けた取り組みを学ぶことで防災意識を高める



六瀨砂防堰堤

流域最大の貯砂量を持ち、下流への土砂流出軽減に貢献し続けています

曲線形状の水通しは、当時の高い石工技術により作られており、歴史的な価値を有する砂防堰堤として国の登録有形文化財に登録されました



当時小中学生の子たちも手作業で積み上げた玉石



狭窄部地層

日本列島が出来た頃の地層を見ることができます

講師：山形大学名誉教授 八木浩司先生
NPO法人 土砂災害防止広報センター



滝の沢橋

流路工により川岸・川底が削られるを防ぎ、川の流れを安定させています



瀬場の巨石

推定800トンの巨石、大昔の土砂災害でここまで流されてきたとされています

第1回 安全パトロールを実施

9月25日(水)、今年度行われている3工事各現場・現場事務所において安全管理状況の確認を行い、事故の発生を未然に防ぐための点検を行いました。今回は庄内労働基準監督署の安全衛生課長も参加くださり、貴重な意見をいただきました。



さきちゃんさんぽ



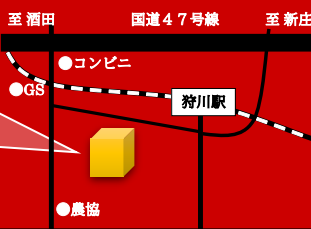
キャンプ砂防参加の大学生と一緒に
濁沢第8砂防堰堤

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
立谷沢川砂防出張所《砂防資料館》

〒999-6601 東田川郡庄内町狩川字堅田20-23

電話：0234-56-2050 FAX：0234-56-2081

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>



《砂防資料館》

- 開館日／平日のみ
- 開館時間／9～16時半
- 入館料無料
- SABOカード配布中！

立谷沢川さぼう

